



# 会津そば通信 第2号 (令和6年3月発行)

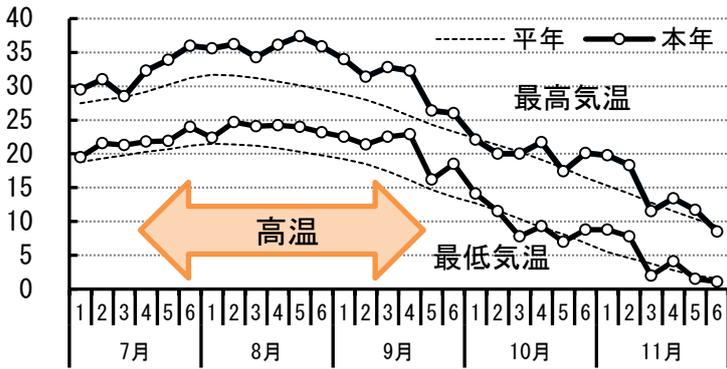
会津若松市・磐梯町・猪苗代町・JA会津よつば(あいづ地区)  
 福島県農業共済組合会津支所・JA全農福島県本部・  
 福島県会津農林事務所農業振興普及部

水田における転作作物として、そば生産を拡大しましょう！！

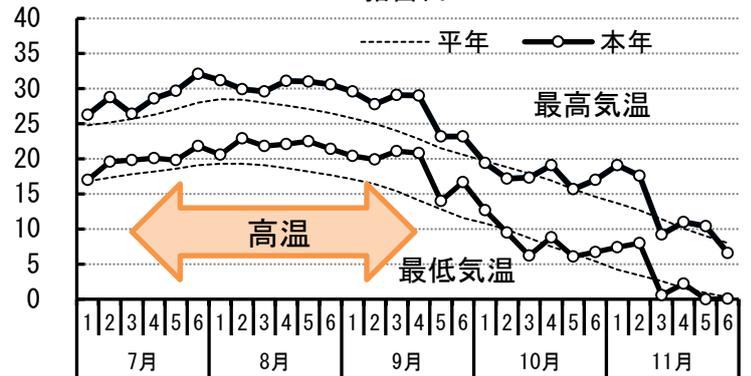
## 1 気象経過

○気温

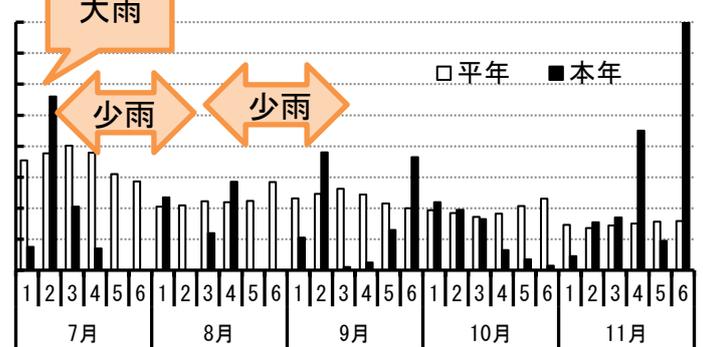
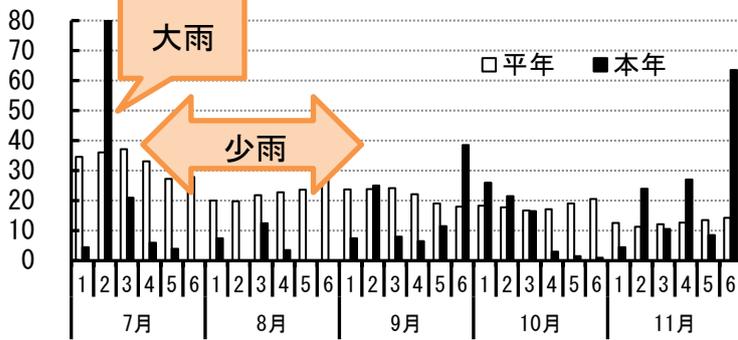
若松



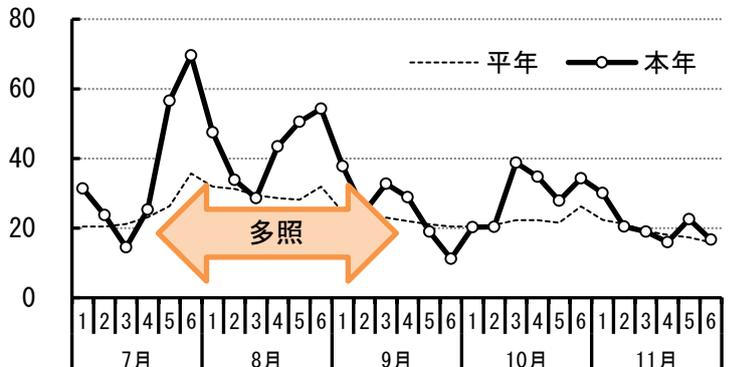
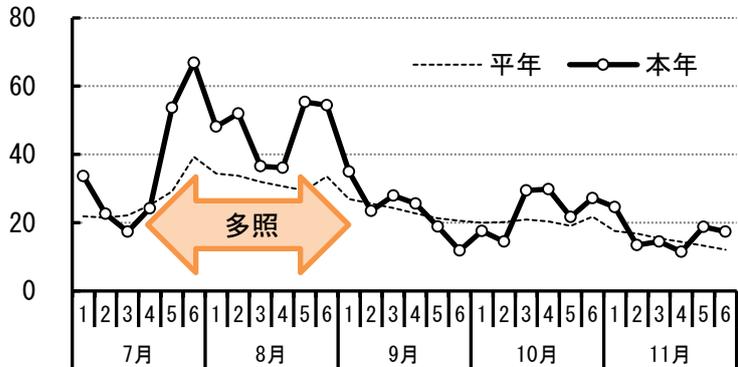
猪苗代



○降水量



○日照時間



- ・ 気温 : 7～9月にかけて平年を大きく上回る高温の日が続きました
- ・ 降水量 : 7月中旬に大雨があり、その後は9月上旬まで著しい少雨となりました。
- ・ 日照時間 : 7月～9月上旬にかけて多照となりました。

## 2 令和5年度の生育を振り返って

### ○山間部

- ・山間部を中心に7月下旬～8月上旬に播種されました。7月中旬の大雨や出芽間もない8月中旬の降雨により、土壌が過湿状態となり、出芽不良や生育不良のほ場が見られました。
- ・8月中旬以降は、高温に加えて、著しく少雨だったことにより土壌の過乾燥状態が続いたため、結実不良により開花期間が長引き、低収となったほ場が多く見られました。
- ・草丈は平年並に生育しているものの、子実の付きが悪かったことが特徴的でした。

### ○平坦部

- ・平坦部を中心に8月上中旬に播種されました。8月中旬以降、高温のうえ、著しく少雨だったため、土壌の過乾燥状態が続いたため、出芽の遅れや葉の縮れ等の生育不良のほ場が見られました。
- ・また、山間部と同様土壌の過乾燥状態により生育不良や結実不良により開花期間が長引き、低収となったほ場が多く見られました。
- ・草丈も低く、子実の付きが悪かったことが特徴的でした。

## 3 次年度産に向けて

### ○出芽不良対策

令和5年産の生育概況から、以下2つの対策が考えられます。

#### 湿害対策

- ・初期の湿害に極めて弱い作物です。播種後に大雨が予想される場合は、播種作業を延期する。
- ・額縁明渠や排水路、暗渠、側溝等を設置し、水が留まらないようにする。

#### 干ばつ対策

- ・播種前の碎土を丁寧に行い、播種後の鎮圧をしっかり行う。
- ・湿害の恐れがないほ場では、播種深度を少し深くする。

### ○土づくり

- ・以下の表を施肥の目安とし、土づくり・施肥を行いましょう。
- ・リン酸、カリは、そばの結実率や耐倒伏性の向上に対する効果が大きいので、しっかり施用しまししょう。窒素の過剰施用は倒伏や結実低下の原因となるので、注意してください。

10aあたりの施用量

苦土石灰	堆肥	ようりん
80～100kg	1～1.5t	30～40kg

10aあたりの施肥量

窒素	リン酸	カリ
2～3kg	3～5kg	2～3kg